



2017 年 九州北部豪雨災害 調査報告書



2017 年九州北部豪雨災害調査報告書

目 次

はじめに1
	中川 一
2017 年 7 月九州北部豪雨災害に対する京都大学防災研究所の活動3
	牧 紀男
気象・水文5
はじめに	石川 裕彦
気象レーダーを用いた豪雨解析6
	中北 英一、山口 弘誠
数値モデルによる豪雨現象の再現性10
	竹見 哲也
過去事例との比較16
	向川 均、竹見 哲也
平成 29 年 7 月九州北部豪雨の温暖化影響評価20
	竹見 哲也
おわりに22
	中北 英一
地表変動	
概要25
	千木良 雅弘
斜面崩壊と地質26
	千木良 雅弘
崩壊発生の水文地形過程33
	松四 雄騎

崩壊発生機構の数値解析40	堤 大三
小野地区地すべりの発生・運動機構および二次災害46	王 功輝、土井 一生、釜井 俊孝
山地斜面の植生と崩壊発生の関係49	松浦 純生
地震計記録による地表変動の検出： 日田市小野地区における斜面崩壊の例52	土井 一生
衛星データによる地表変動の検出54	橋本 学
現代住宅と林業の衰退 —花粉症と流木の起源—59	釜井 俊孝
まとめと今後の課題61	千木良 雅弘
治水		
治水面から見た被害の概要と着目点63	角 哲也
朝倉市赤谷川流域を対象とした平成 29 年九州北部豪雨における斜面崩 壊と洪水の統合解析68	藤田 正治、山野井一輝
降雨の極値統計と流出・氾濫現象の現地調査及びモデリング72	田中 茂信、佐山 敬洋
2017 年 7 月の九州北部豪雨での土石流による土砂生産特性と河岸・河床 変動による被災80	竹林 洋史

桂川流域における土砂・氾濫災害の現地調査と再現計算86	川池 健司、山田 祐樹、中川 一
寺内ダムの流木捕捉量の把握と下流河道の洪水被害軽減効果の評価92	角 哲也、鈴木 湧久、小木曾 友輔、小林 草平、竹門 康弘、Sameh KANTOUSH
情報・避難・災害対応		
避難のためのマイスイッチ・地域スイッチ99	矢守 克也、竹之内 健介、加納 靖之
住民行動の時系列分析を通じた災害情報のあり方に関する考察103	
ー地域防災と災害情報の新たな連携ー		竹之内 健介、加納 靖之、矢守 克也
ハザードマップへの歴史災害地点の重ね合わせ109	
ー災害史と地域防災の新たな連携ー		加納 靖之、竹之内 健介、矢守 克也
今後の未経験・想定外災害に対する「三本の矢」による地域の水害対策への提言115	竹之内 健介、加納 靖之、矢守 克也
AI・IT 技術		
先端的な情報技術の災害対応へ適用に関する考察119	畑山 満則

气象·水文

地表變動

治 水

情報・避難・災害対応

AI・IT 技術

2017年九州北部豪雨災害調査報告書

2018年3月30日発行

編集発行 京都大学防災研究所

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

Tel. (0774) 38-4011 Fax. (0774) 38-4010

印刷 有限会社 レイ・プリンティング

〒602-8497 京都市上京区戌亥町 121

Tel. (075) 417-5251 Fax. (075) 417-5261

収録論文の著作権は各著者又は原掲載誌の発行者が有しております



Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University